



公益社団法人 **街づくり区画整理協会**
Urban Regeneration And Land Readjustment Association

もくじ

会長ご挨拶	1
協会の活動	2
協会の事業概要	
大会等の開催及び情報交換・交流 ...	3
講演会等の開催	3 - 5
専門図書の発行	6 - 7
機関誌の発行	8
相談室の常設	9
表彰の実施	9
調査・研究	10 - 11
入会のご案内	12
協会ホームページのご案内	13
協会事務所のご案内	14

表紙の写真

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯

- ① 月刊「区画整理」2025
- ② 横浜市新綱島駅周辺地区の一体的施行地区の現地研修会より
- ③ 土地区画整理必携（令和7年度版）
- ④ 糸魚川大火から復興した雁木（がんぎ）のある街並みの視察より
- ⑤ 街づくりと区画整理フォーラム2024 パネルディスカッション
- ⑥ 街づくりと区画整理フォーラム2024 分科会
- ⑦ 第45回土地区画整理全国大会 ライトレール（LRT）
- ⑧ 土地区画整理事業移転補償実務マニュアル（第9版）
- ⑨ 土地区画整理事業実務問答集（第5版）
- ⑩ 射水市放生津地区の小規模連鎖型区画整理地区の視察より
- ⑪ 《特別展示》土地区画整理法制定70年
- ⑫ 港区汐留イタリア街の視察より
- ⑬ 英賀保駅周辺土地区画整理事業における鉄道交差事業の視察より
- ⑭ 一体的施行実務ガイドマニュアル
- ⑮ 神戸市震災復興30年イベントに参加して
- ⑯ 輪島市被災地の視察より

会長ご挨拶



当協会は平成17年5月、それまで個別に活動していた社団法人日本土地区画整理協会と社団法人全国土地区画整理組合連合会が一つの法人となり、土地区画整理事業とそれを活用したまちづくりに関する調査・研究、知識・技術の普及・向上、啓発・宣伝等の諸事業を一元的に行う団体として発足し、平成24年4月にはいわゆる公益法人改革法に基づき、公益社団法人に移行いたしました。

土地区画整理事業は、その手法を活用することで、都市基盤を整備し、効率的な土地利用を促進することができ、都市計画を面的に具体化するうえで最も有効な手段と言えます。これまで、戦災や大震災などの災害からの復興、また急速な都市化に対応したまちづくりにも大いに活用され、「都市計画の母」とも呼ばれています。

近年、人口減少・少子高齢化、情報化・技術革新、自然災害の激甚化・頻発化、地球環境問題の深刻化等、都市を取り巻く経済・社会情勢の変化は著しく、また新型コロナウイルス禍を経て、求められる市街地のあり方も持続可能で多様性に富むものへと大きく変化しつつあります。このような中、市街地整備に関しても、多様な手法を組み合わせる迅速・柔軟・連鎖的に進めることが求められており、土地区画整理事業は柔軟かつ有力な市街地整備の「手法」として、これからも幅広く活用されることが期待されております。

当協会といたしましては、これまでの活動の中で培ってきた知識や情報を活かし、区画整理によるまちづくりに取り組む地方公共団体や組合、民間事業者等への支援に努めることを第一として、これからの時代に対応した市街地整備の推進に引き続き積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも、皆様の様々なご要望に的確にお応えし、土地区画整理事業に関する相談体制の強化に取り組むなど、各地の土地区画整理事業の円滑な推進に努めてまいります。

令和7年6月6日

公益社団法人 街づくり区画整理協会
会長 岸井 隆幸

協会の活動



推進・啓発、情報交換・交流

土地区画整理全国大会、区画整理と街づくりフォーラムを開催し、区画整理による街づくりを推進・啓発するとともに、会員相互の情報交換、交流活動を行っています。また、個人、団体の優れた業績に対して表彰を行っています。



支援、指導・助言

区画整理相談室、セミナー、研修会、機関誌・専門図書の発行等による情報の提供、支援、指導・助言により、円滑な土地区画整理事業の実施、既成市街地等における区画整理手法の活用による街づくりを推進しています。



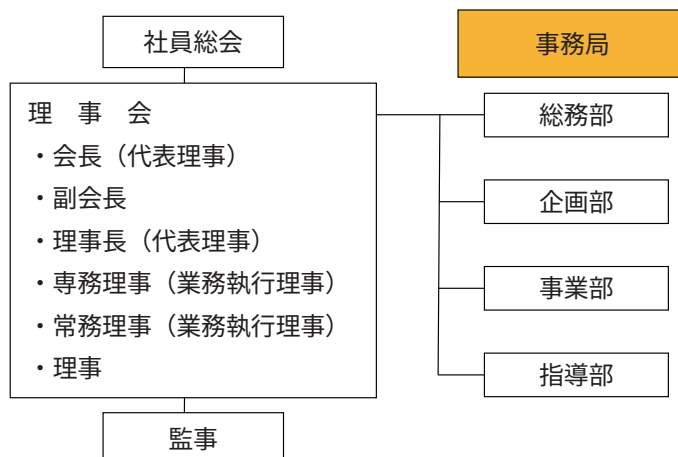
調査、研究

土地区画整理事業の諸課題を解決するため、地方法人会員、政令指定都市等会員、組合連合会会員の各部会による研究、賛助会員による研究会を実施しています。また、自主研究や受託調査により、市街地整備に係る諸課題の解決を目指します。

協会の沿革

昭和45年8月12日	社団法人 日本土地区画整理協会 設立
昭和56年8月20日	社団法人 全国土地区画整理組合連合会 設立
平成17年5月1日	社団法人 街づくり区画整理協会 発足 (上記2団体が合流)
平成24年4月1日	公益社団法人 街づくり区画整理協会 移行

協会の組織



協会の会員数

正会員	352 団体
公共団体	294 団体
組合等	58 団体
特別会員	—
賛助会員	144 団体
合 計	496 団体

（令和7年4月1日現在）

大会等の開催及び情報交換・交流

全国の土地区画整理事業関係者が集まって、セミナーや事例の発表を行う全国的な会合として、「土地区画整理全国大会」と「区画整理と街づくりフォーラム」があり、それぞれ隔年で交互に開催しております。

■土地区画整理全国大会

土地区画整理事業の新しい動きや事業の問題・諸課題を共有・検討すること等を目的に、土地区画整理全国大会を2年に1回開催しています。



第44回土地区画整理全国大会（令和5年11月7日・11月8日 姫路市）

■区画整理と街づくりフォーラム

土地区画整理事業や街づくりに関わる人々と日ごろの研究成果等の発表を通じ、多様な技術・ノウハウの習得や最新情報を共有する区画整理フォーラム等を2年に1回開催しています。



区画整理と街づくりフォーラム2024（令和6年10月23日・10月24日 千代田区）

講演会等の開催

土地区画整理事業に関する知識・技術の普及・向上を図るため、様々なレベルやテーマに応じた実務講習会を開催しております。

■街づくり現地研修会

先行事例等の現地において事業概要の説明を受け、実地見学することにより、知識・技術の普及・向上を図っています。



令和6年度 現地研修会『新綱島駅周辺地区のまちづくり』
～土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行等～（令和7年2月6日 横浜市）

土 地 区 画 整 理 セ ミ ナ ー

「土地区画整理セミナー」は、土地区画整理事業にかかる基礎的事項から専門的かつ詳細にわたる充実した内容の2021年度から、会場での対面式の講習から、インターネットを活用した録画配信による講習方式に移行しました。

企画・調査	都市計画	事業計画	換地設計	仮換地指定
A 土地区画整理の仕組みと運用①・②				
B 助成制度等		F 土地区画整理測量		
	E 土地区画整理と都市計画法等		N 換地計画等	
C 民間施行による柔らかい区画整理（民間事業の認可事務）			O 換地設計演習（対面式）	
D 既成市街地の再編整備		G 事業計画と資金計画		
		S 事業計画作成演習（対面式）		
H 区画整理と再開発の一体的施行				
Q 市街地整備と都市デザイン・まちづくりGX				

■ 各 セ ミ ナ ー の 概 要

A 土地区画整理の 仕組みと運用①・②

土地区画整理事業の初級者を対象に、事業の仕組みや制度について、また土地区画整理に係る今日の課題や事業段階ごとの留意点等について解説します。

B 助成制度等

土地区画整理事業の助成制度は、近年の社会環境の変化に伴い、多様な事業ニーズに対応した補助制度が拡充されており、近年創設された諸制度や新しい助成・融資制度について解説します。

C 民間施行による柔らかい区画整理（民間事業の認可事務）

民間事業者との協議・事業計画の審査にあたってのポイントや「柔らかい区画整理」について躊躇しやすい事項等について事例を交えて解説します。

D 既成市街地の再編整備

柔らかな土地区画整理、再開発との一体的施行、細分化土地の集約による大街区化、土地の代わりに建築物の一部とその建築物の土地の共有持ち分を換地とする立体換地などのさまざまな整備手法の解説や事例紹介により、実践的な技術の習得を図ります。

E 土地区画整理と都市計画法等

土地区画整理法に関連のある、都市計画法（用途地域、地区計画）、総合的なまちづくりのための都市再生特別措置法を中心に、関係法規の仕組みをわかり易く解説します。

F 土地区画整理測量

土地区画整理事業に求められる地区界測量・確定測量等精度の高い測量技術について、ノウハウや留意事項等についての実践的な知識の習得を図ります。

G 事業計画と資金計画

事業計画策定にあたっての基礎となる考え方や資金計画立案の方法について解説します。

S 事業計画作成演習（対面式）

事業計画作成の講義及び演習を行い、即戦力となる業務知識の習得を図ります。

H 区画整理と再開発の 一体的施行

区画整理と再開発の一体的施行の事業構築について、全体像を把握すると共に、区画整理と再開発のそれぞれの特徴、申出換地の手続き、換地計画との関係等を事例を交えわかり易く解説します。

I 移転補償

移転補償の構成や考え方、移転計画、移転手法及び営業補償・農業補償等、補償業務全般に関わる基礎知識から実践的な知識の習得を図ります。

講習を実施しており、土地区画整理事業に携わる方々の技術の研鑽・向上に大いに役立っています。

移 転 ・ 補 償	工 事	換 地 計 画 ・ 換 地 処 分	清 算	持 続 的 な ま ち づ く り
				R エリアマネジメント
I 移転補償		N 換地計画等		
J 土地区画整理と関係税制		O 換地設計演習（対面式）		
K 土地区画整理事業と建築物等の移転（直接施行）			P 清算・登記	
	L 工事計画と工事調整			
	M 土壌汚染と土地区画整理事業			

J 土地区画整理と関係税制

土地区画整理関係税制の概要、土地区画整理事業における各種税制上の特例、それぞれの税制の運用指針について具体的な事例を交え解説します。

M 土壌汚染と土地区画整理事業

関心の高まる土壌汚染問題について、関係法規の仕組みと適切な対応のノウハウを、わかり易い解説と事例紹介により習得を図ります。

P 清算・登記

換地処分に伴う清算事務及び登記の実務について、宅地の評価、差額清算と比例清算、清算金徴収交付事務等の換地実務の知識、また、土地の分筆・合筆登記等の登記実務の知識の習得を図ります。

K 土地区画整理事業と建築物等の移転（直接施行）

土地区画整理事業を進める上で直面する建築物等の移転問題について、直接施行のノウハウを関係法規のわかり易い解説と事例紹介により習得を図ります。

N 換地計画等

換地設計、仮換地指定、換地計画、換地処分等、事業当初から完了までの換地業務を網羅し、実務上必要な基礎知識から実践に役立つ知識の習得を図ります。

Q 市街地整備と都市デザイン・まちづくりGX

市街地整備における、都市デザインへの取り組み方や土地区画整理事業における景観形成の考え方、制度や仕組み、まちづくりGXの緑地保全・緑化推進について解説します。

L 工事計画と工事調整

工事計画と仮換地指定、移転計画、また関係機関との調整等、事業進捗管理に必要な知識等の習得を図ります。

O 換地計画演習（対面式）

換地計画の講義及び演習を行い、即戦力となる換地担当者養成を図ります。

R エリアマネジメント

エリアマネジメントの考え方、仕組及び手法について、まちなかや住宅地における先進事例を示しながら、国の支援制度の活用方法やまちを育てる様々なアイデアを具体的に解説します。

街づくり区画整理協会 専門図書の発行

各種調査・研究結果に基づき「土地区画整理必携」等の専門図書を刊行しています。

各図書の目次は、当協会ホームページでご確認いただけます。

詳細については、当協会（03-3262-2089）までお問い合わせください。

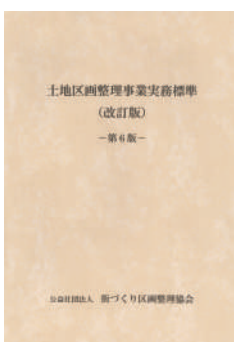


土地区画整理必携（令和 7 年度版）

土地区画整理事業の事業制度（多様な実施体制、柔軟かい区画整理など）や支援措置（交付金、補助事業制度、起債制度、融資制度など）、災害対応（災害復旧事業など）、土地区画整理事業と一体的な実施が可能な各種事業制度をはじめ、参考資料として組合経営改善ガイドライン、社会資本整備総合交付金交付要綱など各種ガイドライン等を織り込んだ解説書です。

A 5 サイズ 令和 7 年 6 月 発行

定価 8,500 円 + 消費税 会員価格 6,800 円 + 消費税



土地区画整理事業実務標準（改訂版）－第 6 版－

土地区画整理事業を施行しようとする者又は施行者が必要とする実務について、事業の立ち上げから事業の完了までわかりやすく解説するとともに、円滑な実務を進める上で活用できる標準的な書式や様式を掲載している、いわゆる実務者の必携本です。

A 4 サイズ 令和 4 年 10 月 発行

定価 10,000 円 + 消費税 会員価格 8,000 円 + 消費税



土地区画整理法逐条解釈（第 11 版）

土地区画整理法の条文ごとに、訳文や解説を示しながら、必要に応じて政令や規則をわかりやすく併記したコンパクトな解説書です。巻末には政令や規則の全文も掲載しています。

A 5 サイズ 令和 6 年 9 月 発行

定価 5,000 円 + 消費税 会員価格 4,000 円 + 消費税



土地区画整理事業調査設計費積算資料（改訂版）補正 6 刷

土地区画整理事業の事業立ち上げから終了までの（測量・補償を除く）主な調査・設計業務について、標準的な歩掛を参考として示しています。今回の補正 6 刷では、多くの問合せが寄せられた修正率の計算方法について、修正率の考え方の解説を更に充実させるとともに、留意事項を追加して、修正率の計算をより分かりやすくして発行いたしました。

A 4 サイズ 令和 5 年 10 月 発行

定価 3,600 円 + 消費税 会員価格 2,880 円 + 消費税



土地区画整理事業実務問答集（第5版）

土地区画整理実務者の多くの方が共通して悩まれる点について、法的解釈や運用のあり方、実務上の処理方法等を問答形式で纏めております。今回の第5版では、当協会の相談対応に携わる10名の専門参与を中心に、第4版の22分類819件の内容を見直し、1件の追加と共に、より理解しやすく、使い勝手の良いように一部の修正を行い掲載内容の充実を図りました。

A4サイズ 令和7年2月 発行

定価 7,500円 + 消費税 会員価格 6,000円 + 消費税



区画整理土地評価基準（案）（改訂版）

土地評価に関する基本的考え方を整理した上で、路線価式評価方法による評価基準（案）、収益還元方式による評価基準（案）、比準方式による評価基準（案）それぞれについて、条項ごとに、【解説】【運用上の留意事項】及び【参考事例】を整理した書で、実務担当者にとって、よりわかりやすく、使いやすいものいたしました。

A4サイズ 平成24年10月 発行

定価 3,280円 + 消費税 会員価格 2,730円 + 消費税



土地区画整理事業移転補償実務マニュアル（第9版）

移転補償における移転関連手続きの様式（文案）、Q&A、関係判例などを掲載し、土地区画整理事業の移転補償を実施する上で有効なマニュアルです。

改訂版では、「公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱」及び用地対策連絡会の基準及び同細則の見直しによる改正や、民法改正による配偶者居住権、押印廃止、建築基準法の改正等による内容を反映いたしました。

A4サイズ 令和4年4月 発行

定価 6,500円 + 消費税 会員価格 5,200円 + 消費税



土地区画整理事業・市街地再開発事業 一体的施行実務ガイドマニュアル

土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行を検討・計画・実施している実務担当者に活用いただく参考書です。各章の冒頭に制度の改訂要領案を示し、解説を掲載した本編に加え、参考資料編として、土地区画整理事業及び市街地再開発事業のそれぞれの概要・これまでに実施された一体的施行の実施例等を紹介した2部構成としています。

A4サイズ 令和3年3月 発行

定価 4,545円 + 消費税 会員価格 3,636円 + 消費税

各発行図書は当協会ホームページからご購入いただけます

機関誌の発行

機関誌「区画整理」を毎月発行しています。



機関誌「区画整理」

毎月1回発行の月刊誌

土地区画整理を活用した市街地整備に関する各種記事を掲載

1, 430円/月（本体1, 300円＋消費税） ※令和7年4月現在
年間購読の場合は、17, 160円（本体15, 600円＋消費税）
（送料は協会の指定業者による送付のみ協会負担）

■主な記事

- ・「巻頭言」「ご当地自慢」「事例紹介」…主に各都道府県で取り組まれているまちづくりを掲載
- ・「随想」……………分野を問わず、活躍されている方を紹介
- ・「企画特集」……………注目されているテーマについて、基調論文、事例紹介を掲載
- ・「相談室」……………土地区画整理に関する各種制度を解説
- ・「わだい」……………ホットな地区情報を掲載
- ・「知恵袋」……………事業を円滑に迅速に進めるための工夫等を掲載
- ・「海外まちづくり事情」……………海外でのまちづくりの紹介
- ・「談論風発」……………会長賞を授与された方々からの寄稿を掲載
- ・「団体だより」……………土地区画整理関係4団体による講習会、イベントの予定、発行図書のご案内

■令和7年「企画特集」一覧（令和7年4月1日現在） ※事情により変更の可能性があります

- 1月号 新春座談会「土地区画整理法施行70年～区画整理の転換期を振り返る～」
- 2月号 他事業との比較によって捉え直す土地区画整理事業
- 3月号 コンパクトな都市づくりと土地区画整理事業
- 4月号 ウォーカブルなまちづくり
- 5月号 こども・子育てにやさしいまちづくりと区画整理
- 6月号 街づくり区画整理協会社員総会報告 土地区画整理関係予算概要
- 7月号 都市農地とまちづくり（その2）
- 8月号 高速道沿道のまちづくり～地方創生～
- 9月号 水災害リスクに備える区画整理
- 10月号 観光地におけるまちづくり
- 11月号 組合施行の健全な事業運営に向けた取り組み
- 12月号 第45回土地区画整理全国大会

相談室の常設

街づくりや土地区画整理事業における個別の課題に応える“相談室”を常設し、Eメールにより、年間約500件を超える相談を受け付けています。当協会職員のほか当協会に登録した各分野の専門家である専門参与により、適切な回答に努めています。

相談内容は、街づくりの立ち上げの段階から、事業の実施段階を経て、事業の完成・収束に至るまで、土地区画整理事業の技術的な課題、組合運営等の運用上の課題、審査請求・訴訟等の法律的課題などについて、広く相談に応じています。

▶ご相談はこちら



<https://ur-lr.or.jp/consultation/>

表彰の実施

土地区画整理事業の推進に特段の功績のあった個人や、土地区画整理事業の推進について他の模範とすべき団体を街づくり区画整理協会会長賞又は同功労賞として表彰しています。

また、東日本大震災や熊本地震における復興土地区画整理事業の応援派遣者を対象とした功労賞の表彰を行っています。

さらに、(公財)都市計画協会の区画整理部門表彰である阿部功労賞の受賞者に本協会から副賞を贈呈しています。



区画整理と街づくりフォーラム2024での表彰（令和6年10月24日 千代田区）

調査・研究

土地区画整理事業によるまちづくりの推進を図るため、次のような調査・研究活動を行っています。

部会の開催

一部会（地方法人部会）

当面する課題の解決策等について情報交換・検討を行っています。

二部会（大都市部会）

会員の課題解決方策の研究のため、政令指定都市等の担当者による研究討議を行っています。その際、多様な手法の組み合わせによる市街地整備、既成市街地整備の新たな取り組みについて重点的に検討を行っています。



現地視察の様子（令和6年11月25日 射水市）

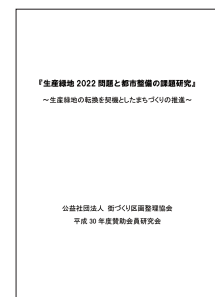
三部会（組合土地区画整理部会）

現在事業中の組合施行土地区画整理事業の経営改善方策や既成市街地などにおける新たな組合施行土地区画整理事業（会社施行を含め）の展開など土地区画整理組合等事業の諸課題に関して、調査・研究・情報交換及び解決策の提案等を行っています。

賛助会

賛助会員等による自主的な研究会を開催しています。

「生産緑地2022問題と都市整備の課題研究」
（概要版・報告書）賛助会員研究会



調査・研究の成果等を活用した区画整理によるまちづくりの支援

既成市街地の整備推進方策及び区画整理組合の経営改善方策等の諸課題について調査・研究しています。

- (1) 「今後の市街地整備のあり方検討会とりまとめ」（令和2年3月）、「小規模で柔軟な区画整理活用ガイドライン」（平成30年11月）、「機動的な街区再編に向けた土地・建物一体型の市街地整備手法活用マニュアル」（平成28年9月）等を活用し、経済・社会の変化に対応した都市の実現のため関係する機関等とも協力して“区画整理手法を活用したまちづくり”の普及を図ります。

- (2) 他の関係 3 団体と共同で策定した「一体的施行実務ガイドマニュアル」(令和 3 年 3 月)の活用による土地地区画整理事業と市街地整備再開発事業の一体的施行の普及を図ります。
- (3) 都市の防災・減災に向けた取組の促進のため、令和 3 年度までに取りまとめた東日本大震災からの被災地の復興土地地区画整理事業の促進に向けた取り組みや工夫の記録について、今後の防災まちづくりの推進にその活用を図ります。

「東日本大震災からの復興土地地区画整理事業の記録(概要)」
(令和 2 年 7 月作成、9 月～配布)



海外技術交流

海外における土地地区画整理事業及び類似的の都市開発手法に関し、技術交流を図っています。



「インド高速鉄道と駅周辺整備」講演会



「世界の土地地区画整理の動向と日本の協力」開催案内

受託調査

土地地区画整理事業に関する受託調査を実施しています。

令和 元 年度：国土交通省 2 件

令和 2 年度：国土交通省 1 件、地方公共団体 1 件

令和 3 年度：国土交通省 2 件

令和 4 年度：国土交通省 1 件

令和 5 年度：国土交通省 1 件

令和 6 年度：国土交通省 1 件

街づくり区画整理協会 入会のご案内

当協会にご入会いただくと、機関誌月刊「区画整理」が毎月送付されるほか、セミナー参加費・専門図書購入費の割引、協会ホームページの会員ページの閲覧など、さまざまなサービスを受けることができます。

会員の構成

本協会の趣旨に賛同する者は、所定の様式に従い入会を申し出た上で、理事会の承認を経ることで会員となることが出来ます。

本協会の会員の構成は、以下のとおりです。

正会員：本協会の目的に賛同して入会した個人又は団体

（土地区画整理事業を行う個人、土地区画整理組合、区画整理会社、地方公共団体、都市再生機構、公社、土地区画整理事業の保留地を管理する者及びこれらの構成する団体又はその他の土地区画整理事業に関係する団体に限る。）

特別会員：土地区画整理事業に関連のある公益事業等を実施する団体で、本協会の目的に賛同して入会した者

賛助会員：本協会の事業を賛助し又は後援するために入会した個人又は団体

名誉会員：本協会に功労のあった者又は学識経験者で、社員総会の決議により推載した個人

入会について

（１）入会手続

本協会に会員として入会しようとする者は、該当する入会申込書に必要事項を記入の上、ご提出していただきます。

（２）会費

①正会員の場合

- ・地方公共団体及び組合 人口規模、面積割合など本協会の会費規程に基づき算定した額
- ・その他の団体

１口 ２５，０００円（１口 以上）

②特別会員の場合

１口 ５０，０００円（１口 以上）

③賛助会員の場合

- ・法人 １口 ５０，０００円（１口 以上）＜入会金 ５，０００円＞
- ・個人 １５，０００円

▶ご入会はこちら



<https://www.ur-lr.or.jp/member/>

協会ホームページのご案内

当協会のホームページは、平成31年4月より全面リニューアルいたしました。

「出版図書」の目次の掲載や「調査・研究」、「会員ページ」の新設により、内容を充実させました。

公益社団法人
街づくり区画整理協会
Urban Regeneration and Land Readjustment Association

第45回土地区画整理全国大会
日程：2025年（令和7年）11月6日（木）～7日（金）
場所：ライトキューブ宇都宮 中ホール（栃木県宇都宮市）

「令和6年能登半島地震」により、被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。
皆さまの安全と1日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます
公益社団法人 街づくり区画整理協会

ホーム 協会案内 セミナー 出版図書 調査・研究 相談室 入会案内

安全、快適、活力ある
まちづくりをめざして

宮城県 女川町「女川駅前広場」

土地区画整理事業とは

まちづくりのハードな部分を受け持つ整備手法のうちのひとつで、一定の広がりを持って「まち」を整備することができます。画整備の代表的な手法です。

土地区画整理
全国大会

全国の土地区画整理事業を活用した街づくりに関する関係者が一堂に会し、専門知識の向上、最新情報の周知・伝達及び普及・啓蒙を図る全国大会です。

区画整理と街づくり
フォーラム

全国の土地区画整理事業や街づくりに関する関係者による研究成果等の発表や、講演・パネルディスカッション等により、街づくりの関係者の交流を図るフォーラムです。

月刊「区画整理」

当協会の機関誌で、時代に即したテーマの企画特集や事業地区の事例紹介など、土地区画整理事業に関わる情報を掲載しています。

会員ページにおいては、協会保有の以下の資料を閲覧いただけます。

①月刊「区画整理」バックナンバー

・平成元年以降の全バックナンバー

②月刊「区画整理」デジタル目次

③季刊誌「組合区画整理」バックナンバー

・昭和59年創刊号～平成17年最終号の全バックナンバー
（旧 社団法人 全国土地区画整理組合連合会が発行）

④土地区画整理全国大会資料

・過去開催全国大会の記念講演、事例研究資料等

⑤調査・研究報告書

・過去の「二部会（大都市部会）研究会」、「賛助会員研究会」の成果報告書

⑥講演会資料

・社員総会、一部会、三部会等の講演資料

⑦全国市街地整備主管課長会議資料

▶協会ホームページはこちら



<https://www.ur-lr.or.jp/>

協会事務所のご案内

公益社団法人

街づくり区画整理協会

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町 3 番 32 号 都市計画会館 2 階

TEL 03-3262-2089

FAX 03-3262-5907

ホームページ URL <https://www.ur-lr.or.jp/>

交通のご案内

東京メトロ

有楽町線 麴町駅 1 番出口より徒歩 4 分

半蔵門線 半蔵門駅 2 番出口より徒歩 9 分

南北線 永田町駅 9 b 番出口より徒歩 4 分

